

# 京都暁星高等学校ウォーカソン スポンサーのお願い

京都暁星高等学校ではウォーカソンをこれまで17回実施してきました。ご協力頂いた多くの皆様に改めて感謝申し上げます。今年は新型コロナウイルス感染症のことがあり実施が危ぶまれましたが、感染対策を講じた上で、11月21日に例年のように加悦から学校までの26kmを歩くことにしました。

このウォーカソンというのは、自分たちが歩くことに対してスポンサーになってくださる方をお願いし、様々な活動の支援に使うもので、これまでに海外ではフィリピンやネパールの支援、国内では東日本震災復興や今年の九州の豪雨災害の支援などを行うことができました。

今年も下記のような支援を行っていきたいと思いますので、一人でも多くの方に私達の活動を知っていただき、スポンサーになっていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

## 2019年11月と2020年7月に実施したウォーカソンで 皆様の協力を頂いて総額298万円の支援をすることができました

- |   |                    |      |                  |
|---|--------------------|------|------------------|
| 1 | 水道パイプラインの設置        | (6基) | (ネパール・インドラワティ村)  |
| 2 | 井戸の建設              | (1基) | (フィリピン・ソルソゴン州)   |
| 3 | スカラーシップ支援 (学生の奨学金) | (2名) | (フィリピン・ミンダナオの学生) |
| 4 | 新型コロナウイルス緊急対策      |      | (カリタス・ジャパン)      |
| 5 | カリタス釜石の活動補助        |      | (岩手県・東日本震災復興支援)  |
| 6 | カリタス南相馬の活動補助       |      | (福島県・東日本震災復興支援)  |
| 7 | 九州豪雨災害支援           |      | (カトリック福岡司教区)     |

## 今年のウォーカソンでの支援内容

- |   |                    |      |                  |
|---|--------------------|------|------------------|
| 1 | 水道パイプラインの設置        |      | (ネパール・インドラワティ村)  |
| 2 | 井戸の建設              | (1基) | (フィリピン・ソルソゴン州)   |
| 3 | スカラーシップ支援 (学生の奨学金) | (2名) | (フィリピン・ミンダナオの学生) |
| 4 | JLMM のカンボジアでの活動支援  |      | (カンボジア・プノンペン)    |
| 5 | カリタス南相馬の活動補助       |      | (福島県・東日本震災復興支援)  |
| 6 | ネパールワークキャンプ活動補助    |      |                  |

実施日 11月21日(土)

加悦教会堂→岩滝礼拝堂→天橋立松並木→宮津教会堂→京都暁星高等学校

9:00 スタート

16:00 頃到着予定

## 支援先のプロジェクトの紹介

### ネパール 水道パイプラインの設置

インドラワティ村は、首都カトマンズから東に峠道を車で 6 時間行った所にある標高 1400m の村。2015 年のネパール地震で水源が枯渇した。(財)アジア協会では標高差 800m 下の谷川から水をくみ上げてタンクに溜め、約 10 軒毎に 1 か所ずつの共同水場までパイプラインを設置するプロジェクトを進めておられます。



暁星高校では、2017 年から支援を始めてワークキャンプ参加者が住民の方と一緒に作業してきました。今年はコロナの影響で渡航ができなかったため、現地の方のみでの作業となりましたが、今年も支援を続けていきます。

### JLMM カンボジアの「子どもの家」の活動支援

昨年の 11 月に講演をいただいた漆原比呂志さんが事務局長を務める JLMM という国際ボランティア団体のカンボジアの活動拠点「子どもの家」では、経済的に困窮し学校に通えない子供のための識字教室や食事の支援などをされています。カンボジアでもコロナの影響で食事がとれない家庭が増えていて、缶詰や米・石鹸などの緊急支援を始めておられます。今年のウォークソンではこれらの JLMM の活動支援も行っています。



### カリタス南相馬からの手紙



#### 主の平和

京都暁星高校の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

郵便振替にて貴重な献金を受け取りました。コロナ感染拡大という状況の下できっと学生の方々、先生方大変な時を過ごされたことでしょう。このようなときに恒例のウォークソンを休むことなく実行され、東日本大震災被災地への支援活動及び各種災害支援活動のためにお送り下さいましたこの献金の重みを感じております。ご厚志をありがとうございました。

震災と原発事故によって今もいろいろの苦しみの中で生活をされている多くの方に寄り添い、また台風被害、コロナ感染に伴う生活困窮者への支援のために役立たせて頂きます。生活を共にしながら支えを続けていきたいと思っております。